

1 概況 - 生産指数、出荷指数ともに上昇 -

平成18年の埼玉県鉱工業指数（平成12年平均=100）は、前年に比べ、生産4.3%、出荷4.0%、在庫率15.8%とともに上昇し、一方で在庫は3.8%と低下した。

四半期別に一年間の動きをみると、生産は対前期比すべてで上昇、出荷も7～9月期を除き上昇、在庫は7～9月期を除き低下した。

業種別（19業種）にみると、生産は、化学工業・一般機械工業など13業種で上昇、繊維工業・食料品工業など6業種が低下した。

出荷は、化学工業・輸送機械工業など12業種で上昇、繊維工業・非鉄金属工業など7業種が低下した。在庫は、電気機械工業・鉄鋼業など7業種で上昇、金属製品工業・輸送機械工業など12業種が低下した。

表1-1 鉱工業総合指数の推移（12年=100 季調済、年の数字は原指数による）

種別		17年	18年	18年			
				1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
生産	指数	90.3	94.2	93.3	93.9	94.0	95.7
	増加率(%)	3.0	4.3	1.5	0.6	0.1	1.8
出荷	指数	93.0	96.7	96.2	96.3	95.3	99.1
	増加率(%)	2.5	4.0	2.2	0.1	1.0	4.0
在庫	指数	116.4	112.0	113.2	109.0	112.7	112.0
	増加率(%)	3.8	3.8	3.7	3.7	3.4	0.6
在庫率	指数	142.8	165.3	161.9	157.9	173.7	168.6
	増加率(%)	10.8	15.8	6.5	2.5	10.0	2.9

図1-1 鉱工業総合指数の推移（12年=100 季調済、年の数字は原指数による）

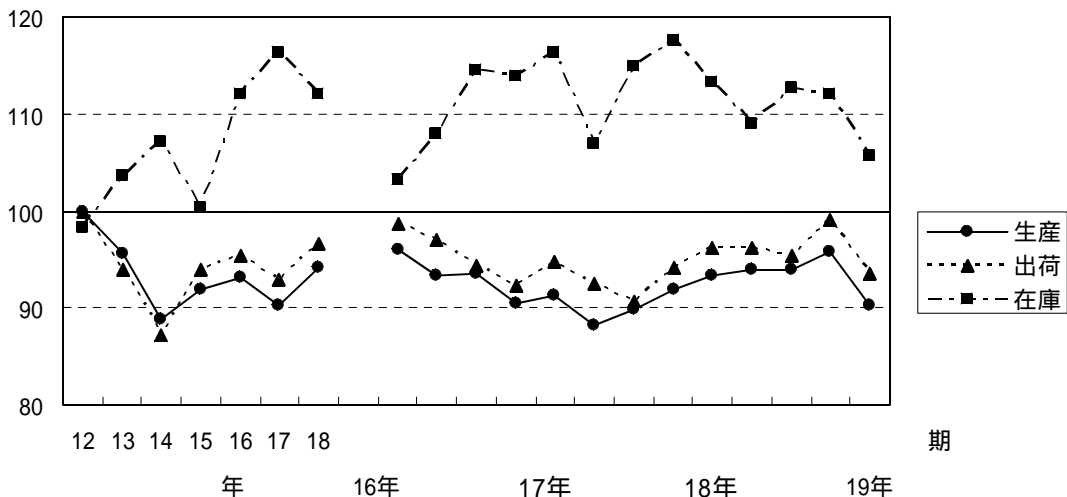


表1 - 2 上昇・低下に寄与した業種及び品目

* 生産

上昇した主な業種	化学工業 10.5% (2.4%) 一般機械工業 7.1% (0.8%)	医薬品、化粧品 空気圧機器
低下した主な業種	繊維工業 6.8% (0.1%) 食料品工業 1.1% (0.1%)	不織布、織物製外衣 ビスケット、粉乳
上昇した主な品目	医薬品・化粧品(化)、空気圧機器(一)、基地局通信装置(電)	
低下した主な品目	携帯電話・スイッチング電源・交換機(電)、食缶(金)	

* 出荷

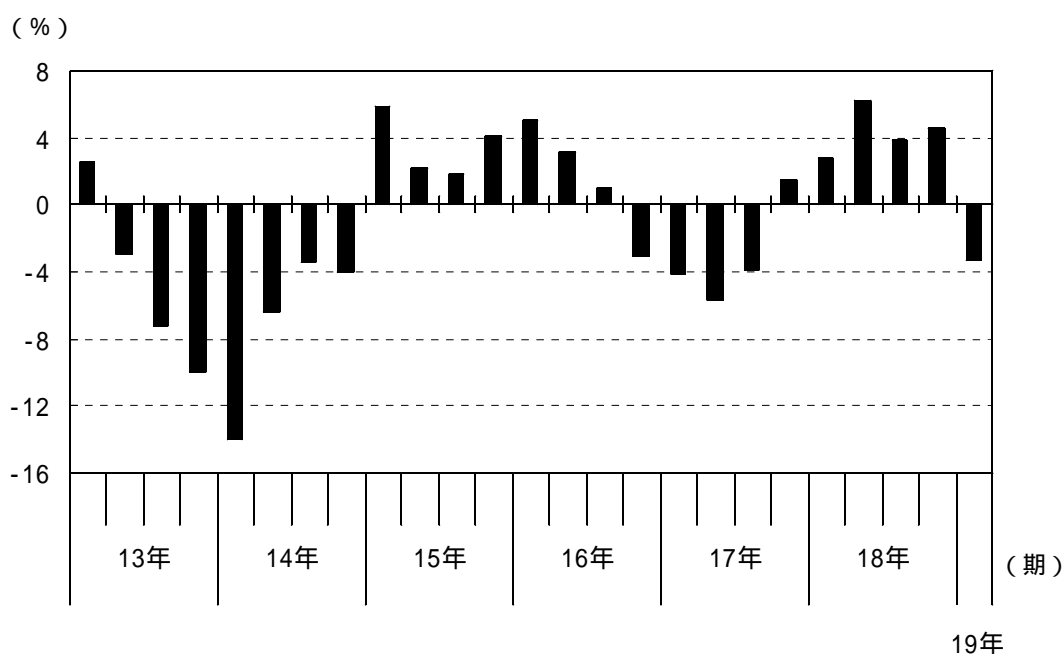
上昇した主な業種	化学工業 10.4% (1.4%) 輸送機械工業 4.7% (1.3%)	医薬品、化粧品 乗用車、普通トラック
低下した主な業種	繊維工業 5.8% (0.1%) 非鉄金属工業 2.4% (0.1%)	不織布 銅電線
上昇した主な品目	医薬品(化)、乗用車(輸)、空気圧機器(一)、基地局通信装置(電)	
低下した主な品目	携帯電話・スイッチング電源・交換機(電)	

* 在庫

上昇した主な業種	電気機械工業 16.0% (3.5%) 鉄鋼業 5.9% (0.1%)	線形半導体集積回路 鋼半製品、鋳鉄铸件
低下した主な業種	金属製品工業 36.5% (2.4%) 輸送機械工業 11.7% (1.8%)	一般缶、食缶 乗用車
上昇した主な品目	線形半導体集積回路・モス型半導体集積回路(電)	
低下した主な品目	乗用車(輸)、はん用内燃機関(一)、一般缶・食缶(金)	

注) 数字は対前年比。()内は寄与度。

図1 - 2 生産指数前年同期比の推移



2 主要業種の動向

(1) 金属製品工業 - 生産、出荷指数ともに6年連続の低下 -

平成18年の金属製品工業は、前年に比べ、生産は1.1%、出荷0.2%、在庫36.5%とすべて低下した。

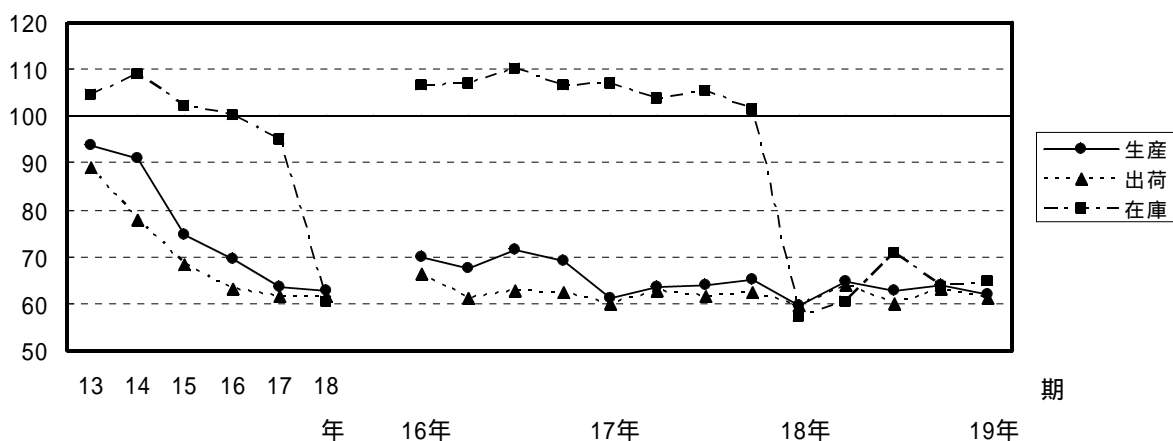
品目別に上昇品目をみると、生産及び出荷については線ばね・粉末や金製機械材料、在庫はアルミニウムエクステリア・飲料用アルミニウム缶などが寄与した。

一方で低下品目については、生産及び出荷は食缶・石油温風暖房機、在庫は一般缶・食缶・石油温風暖房機などが寄与した。

表2-1 金属製品工業の推移 (12年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		17年	18年	18年			
				1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
生産	指数	63.4	62.7	59.7	64.6	62.6	63.9
	増加率(%)	8.5	1.1	8.2	8.2	3.1	2.1
出荷	指数	61.7	61.6	59.6	63.8	59.8	63.1
	増加率(%)	2.2	0.2	4.5	7.0	6.3	5.5
在庫	指数	94.8	60.2	57.3	60.3	70.6	63.4
	増加率(%)	5.2	36.5	43.5	5.2	17.1	10.2
在庫率	指数	160.8	155.0	110.3	179.8	179.0	141.0
	増加率(%)	7.5	3.6	30.2	63.0	0.4	21.2

図2-1 金属製品工業の推移 (12年=100 季調済、年の数値は原指数による)



(2) 一般機械工業 - 生産、出荷指数ともに4年連続の上昇 -

平成18年の一般機械工業は、前年に比べ、生産は7.1%、出荷も7.2%と上昇し、一方で在庫は5.0%の低下であった。

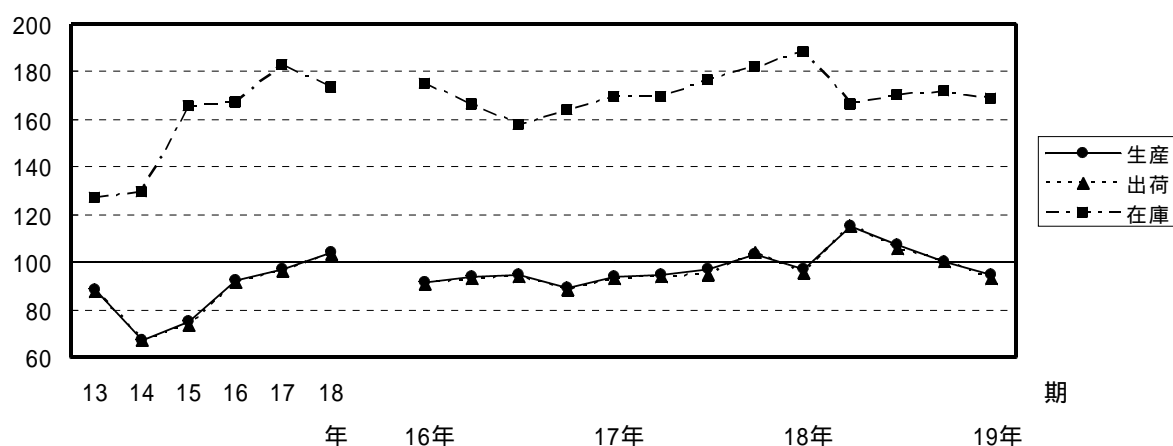
品目別に上昇品目をみると、生産及び出荷については空気圧機器・フラットパネルディスプレイ製造装置・シヨベル系掘削機械、在庫は空気動工具・油圧機器・農業用乾燥機などが寄与した。

一方で低下品目については、生産及び出荷は半導体製造装置・たばこ自動販売機、在庫ははん用内燃機関・空気圧機器などが寄与した。

表2-2 一般機械工業の推移 (12年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		17年	18年	18年			
				1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
生産	指数	97.2	104.1	97.2	114.9	106.9	100.2
	増加率(%)	5.7	7.1	6.1	18.2	7.0	6.3
出荷	指数	96.3	103.2	95.7	114.8	106.0	100.1
	増加率(%)	5.2	7.2	7.7	20.0	7.7	5.6
在庫	指数	182.5	173.4	188.5	166.4	170.0	171.5
	増加率(%)	9.4	5.0	3.5	11.7	2.2	0.9
在庫率	指数	163.6	148.8	158.6	135.8	144.4	157.6
	増加率(%)	4.1	9.0	3.1	14.4	6.3	9.1

図2-2 一般機械工業の推移 (12年=100 季調済、年の数値は原指数による)



(3) 電気機械工業 - 生産、出荷指数ともに上昇 -

平成18年の電気機械工業は、前年に比べ、生産1.5%、出荷2.3%、在庫も16.0%とすべて上昇した。

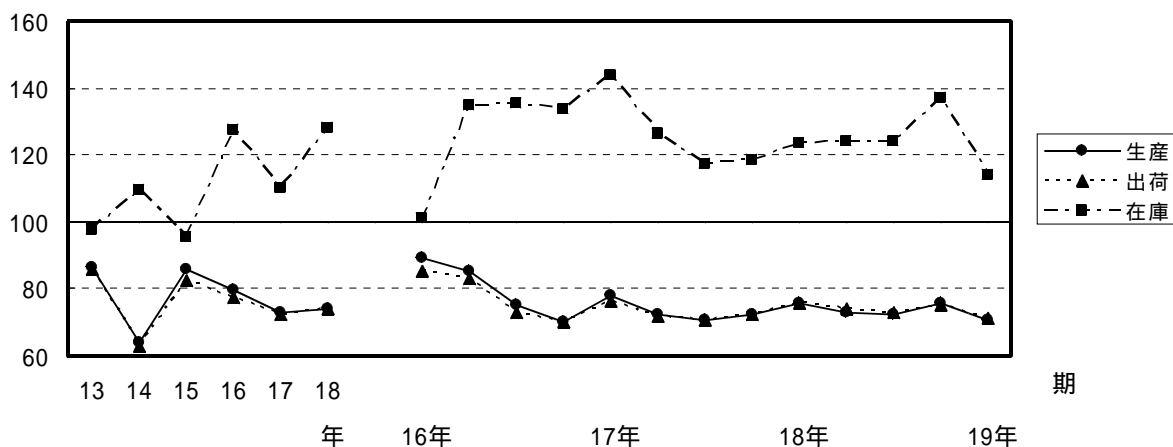
品目別に上昇品目をみると、生産及び出荷については基地局通信装置・カーナビゲーション・開閉制御装置・液晶テレビ、在庫は線形半導体集積回路・モス型半導体集積回路などが寄与した。

一方で低下品目については、生産及び出荷は携帯電話・スイッチング電源・交換機・デジタル伝送装置、在庫はカーステレオ・電気掃除機などが寄与した。

表2-3 電気機械工業の推移 (12年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		17年	18年	18年			
				1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
生産	指数	73.1	74.2	75.6	73.1	72.6	76.0
	増加率(%)	8.4	1.5	4.6	3.3	0.7	4.7
出荷	指数	72.6	74.3	75.5	73.8	72.9	75.2
	増加率(%)	6.4	2.3	4.4	2.3	1.2	3.2
在庫	指数	110.1	127.7	123.5	124.2	123.9	137.2
	増加率(%)	13.6	16.0	4.2	0.6	0.2	10.7
在庫率	指数	185.8	281.0	272.2	247.1	300.8	308.8
	増加率(%)	20.3	51.2	43.4	9.2	21.7	2.7

図2-3 電気機械工業の推移 (12年=100 季調済、年の数値は原指数による)



(4) 輸送機械工業 - 生産、出荷指数ともに3年連続の上昇 -

平成18年の輸送機械工業は、前年に比べ、生産は3.2%、出荷も4.7%上昇、一方で在庫は11.7%の低下であった。

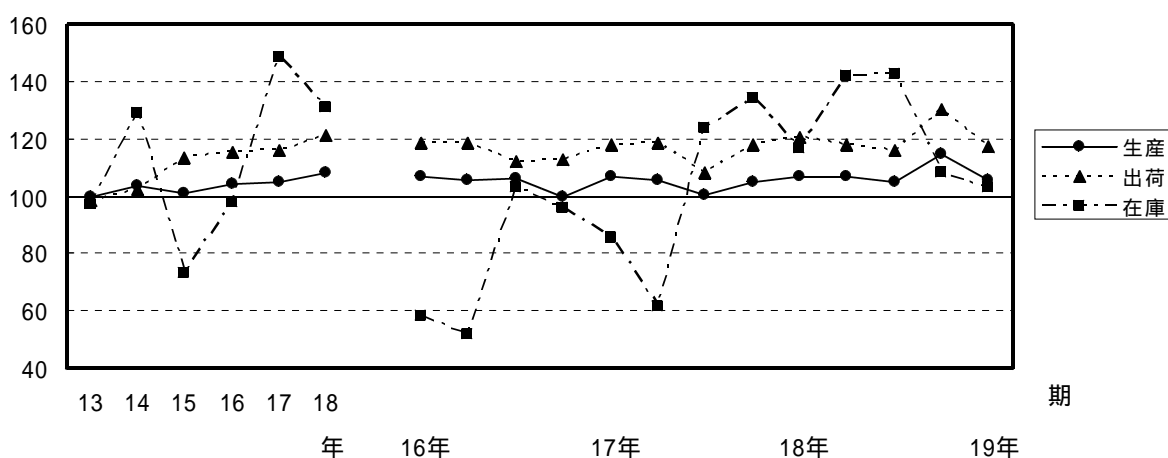
品目別に上昇品目をみると、生産及び出荷については乗用車・普通トラック・完成自転車・輸送機械用エアコン、在庫は普通トラック・大型バス・完成自転車などが寄与した。

一方で低下品目については、生産・出荷については機関部品・けん引車、在庫は乗用車・輸送機械用エアコンなどが寄与した。

表2-4 輸送機械工業の推移 (12年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		17年	18年	18年			
				1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
生産	指数	104.6	107.9	106.5	106.6	104.7	114.3
	増加率(%)	0.1	3.2	1.3	0.1	1.8	9.2
出荷	指数	115.6	121.0	120.4	117.9	116.0	129.9
	増加率(%)	0.3	4.7	2.0	2.1	1.6	12.0
在庫	指数	148.1	130.8	116.6	141.9	142.3	107.8
	増加率(%)	51.7	11.7	13.0	21.7	0.3	24.2
在庫率	指数	99.3	117.7	116.6	125.0	141.9	92.8
	増加率(%)	22.7	18.5	7.5	7.2	13.5	34.6

図2-4 輸送機械工業の推移 (12年=100 季調済、年の数値は原指数による)



(5) 化学工業 - 生産、出荷ともに上昇 -

平成18年の化学工業は、前年に比べ、生産は10.5%、出荷も10.4%と上昇し、一方で在庫は3.0%の低下であった。

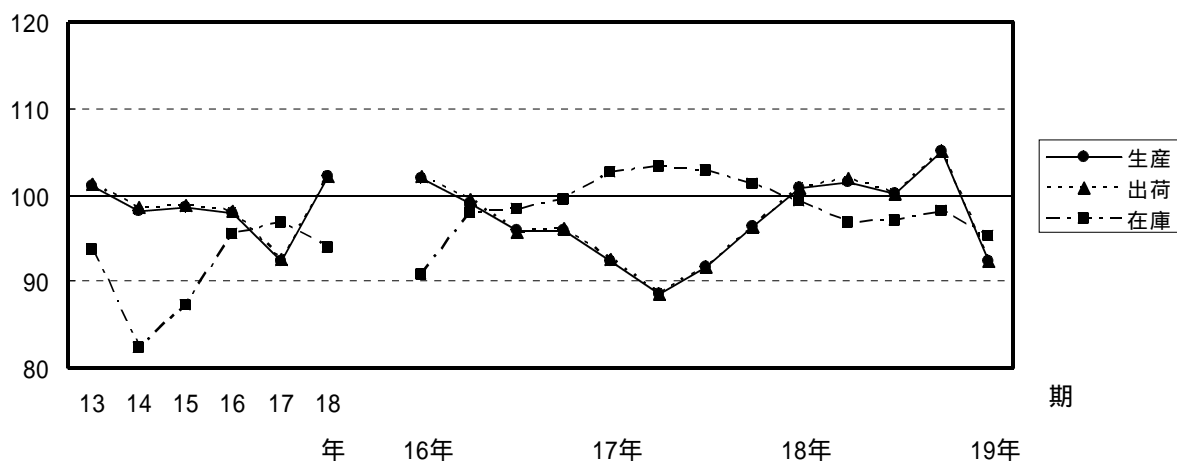
品目別に上昇品目をみると、生産及び出荷については医薬品・化粧品・印刷インキ、在庫は印刷インキ・印刷インキ用ワニス・シンナーなどが寄与、特に医薬品の伸びが大きかった。

一方で低下品目については、生産・出荷・在庫とも身体洗剤・石鹸・合成樹脂塗料などが寄与した。

表2-5 化学工業の推移 (12年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		17年	18年	18年			
				1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
生産	指数	92.4	102.1	100.8	101.5	100.2	105.0
	増加率(%)	5.5	10.5	4.6	0.7	1.3	4.8
出荷	指数	92.5	102.1	100.7	101.8	100.1	105.1
	増加率(%)	5.6	10.4	4.5	1.1	1.7	5.0
在庫	指数	96.8	93.9	99.3	96.7	97.0	98.0
	増加率(%)	1.4	3.0	1.9	2.6	0.3	1.0
在庫率	指数	109.2	107.4	107.6	109.6	107.1	106.5
	増加率(%)	8.2	1.6	3.8	1.9	2.3	0.6

図2-5 化学工業の推移 (12年=100 季調済、年の数値は原指数による)



(6) プラスチック製品工業 - 2年連続の出荷指数低下 -

平成18年のプラスチック製品工業は、前年に比べ、生産は5.3%と上昇したが、出荷は0.3%、在庫も1.0%低下した。

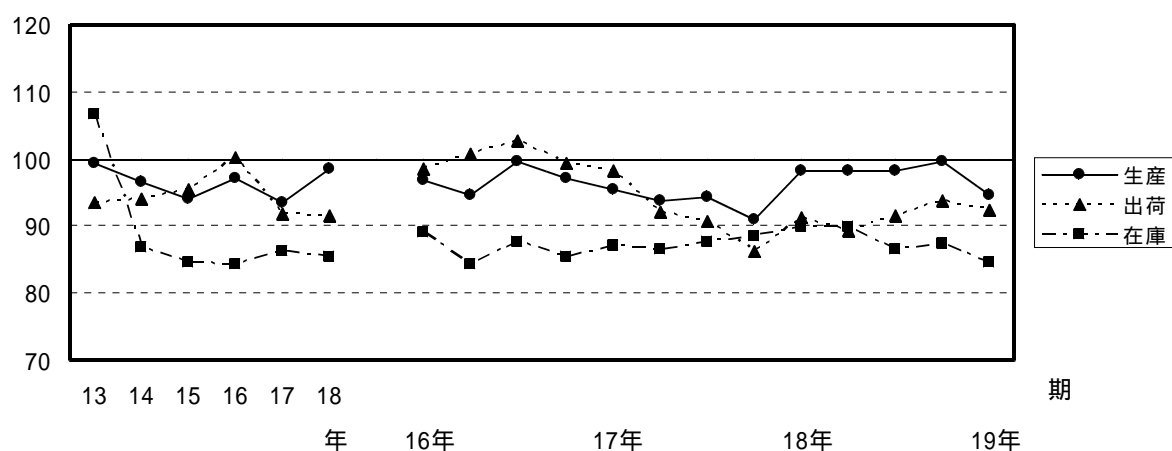
品目別に上昇品目をみると、生産についてはプラスチック製容器・プラスチック製建材、出荷及び在庫はプラスチック製建材・プラスチック製フィルムなどが寄与した。

一方で低下品目については、生産及び出荷はプラスチック製機械器具部品・プラスチック製板、在庫はプラスチック製板・強化プラスチック製品などが寄与した。

表2-6 プラスチック製品工業の推移 (12年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		17年	18年	18年			
				1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
生産	指数	93.6	98.6	98.3	98.2	98.3	99.7
	増加率(%)	3.5	5.3	8.0	0.1	0.1	1.4
出荷	指数	91.7	91.4	91.1	89.2	91.6	93.7
	増加率(%)	8.6	0.3	5.8	2.1	2.7	2.3
在庫	指数	86.3	85.4	89.8	89.7	86.6	87.4
	増加率(%)	2.5	1.0	1.6	0.1	3.5	0.9
在庫率	指数	97.6	98.0	101.5	100.5	96.5	92.8
	増加率(%)	6.0	0.4	4.3	1.0	4.0	3.8

図2-6 プラスチック製品工業の推移 (12年=100 季調済、年の数値は原指数による)



3 財別動向

(1) 生産 - 最終需要財・生産財ともに上昇 -

平成18年の生産動向を財別にみると、前年に比べ、最終需要材は5.1%（投資財2.6%、消費財6.7%）、生産財も3.2%と上昇した。

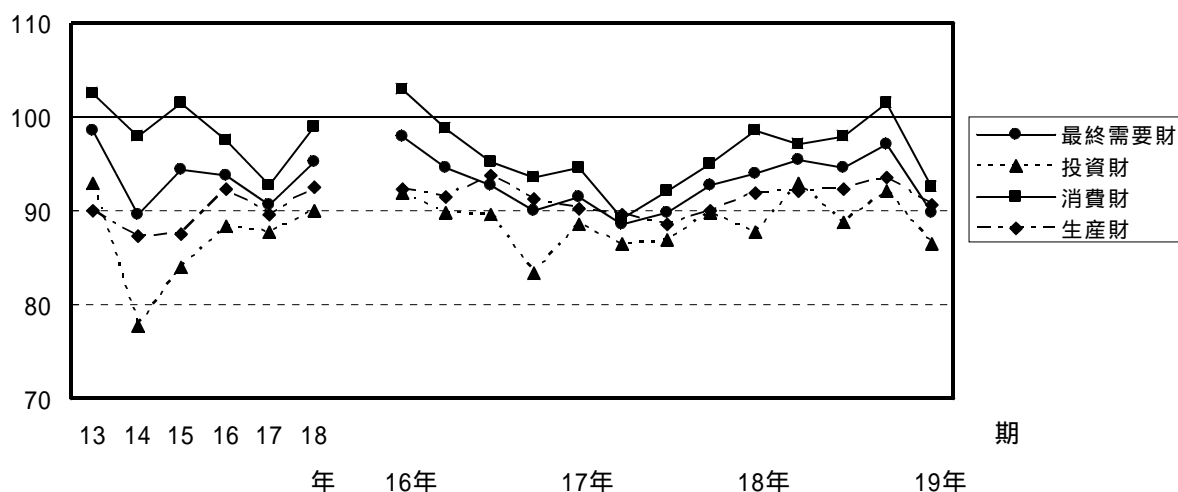
品目別に上昇品目をみると、最終需要材では医薬品・化粧品(消費財)や基地局通信装置(投資財)、生産財では空気圧機器やプラスチック製容器などが寄与した。

一方で低下品目については、最終需要材では携帯電話(消費財)や交換機・半導体製造装置(投資財)、生産財ではスイッチング電源・食缶などが寄与した。

表3-1 財別生産の推移 (12年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		17年	18年	18年			
				1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
最終需要財	指数	90.7	95.3	94.0	95.5	94.6	97.0
	増加率(%)	3.2	5.1	1.4	1.6	0.9	2.5
投資財	指数	87.8	90.1	87.8	93.0	88.7	92.1
	増加率(%)	0.7	2.6	2.1	5.9	4.6	3.8
資本財	指数	90.1	92.0	90.4	94.8	90.0	94.3
	増加率(%)	0.4	2.1	4.2	4.9	5.1	4.8
建設財	指数	82.9	86.0	83.2	87.3	86.1	87.6
	増加率(%)	1.3	3.7	2.1	4.9	1.4	1.7
消費財	指数	92.7	98.9	98.5	97.1	98.0	101.4
	増加率(%)	4.8	6.7	3.6	1.4	0.9	3.5
耐久消費財	指数	87.9	87.3	90.1	85.6	85.6	88.4
	増加率(%)	3.1	0.7	7.5	5.0	0.0	3.3
非耐久消費財	指数	93.6	102.9	101.8	101.8	101.8	105.4
	増加率(%)	6.1	9.9	0.8	0.0	0.0	3.5
生産財	指数	89.6	92.5	91.9	92.1	92.3	93.5
	増加率(%)	2.8	3.2	2.2	0.2	0.2	1.3
鉱工業用生産財	指数	90.2	93.0	92.4	92.7	92.9	94.1
	増加率(%)	2.7	3.1	2.1	0.3	0.2	1.3
その他用生産財	指数	58.7	58.2	56.3	58.6	57.6	60.1
	増加率(%)	4.7	0.9	3.3	4.1	1.7	4.3

図3-1 財別生産の推移 (12年=100 季調済、年の数値は原指数による)



(2) 出荷 - 最終需要財・生産財ともに上昇 -

平成18年の出荷動向を財別にみると、前年に比べ、最終需要材は5.1%（投資財3.8%、消費財6.4%）、生産財も1.9%と上昇した。

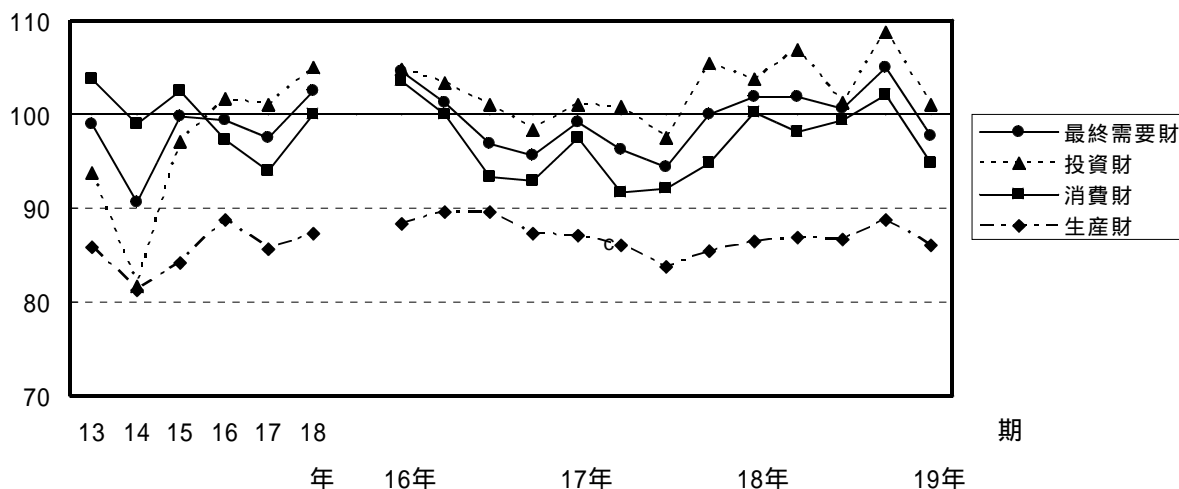
品目別に上昇品目をみると、最終需要材では医薬品(消費財)・基地局通信装置(投資財)・乗用車(消費財・投資財)、生産財では空気圧機器などが寄与した。

一方で低下品目については、最終需要材では携帯電話(消費財)や交換機・けん引車(投資財)、生産財ではスイッチング電源・プラスチック製機械器具部品・プラスチック製容器などが寄与した。

表3-2 財別出荷の推移 (12年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		17年	18年	18年			
				1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
最終需要財	指数	97.4	102.4	101.8	101.8	100.7	105.1
	増加率(%)	2.0	5.1	1.9	0.0	1.1	4.4
投資財	指数	101.1	104.9	103.8	106.9	101.2	108.8
	増加率(%)	0.6	3.8	1.5	3.0	5.3	7.5
資本財	指数	105.3	108.9	108.1	110.8	104.3	114.0
	増加率(%)	0.3	3.4	3.8	2.5	5.9	9.3
建設財	指数	86.7	91.5	88.4	92.9	91.5	93.0
	増加率(%)	2.1	5.5	4.2	5.1	1.5	1.6
消費財	指数	94.0	100.0	100.2	98.2	99.4	102.0
	増加率(%)	3.4	6.4	5.7	2.0	1.2	2.6
耐久消費財	指数	94.1	97.4	100.5	95.1	93.8	100.5
	増加率(%)	0.7	3.5	12.3	5.4	1.4	7.1
非耐久消費財	指数	93.2	101.8	100.5	100.8	100.8	104.6
	増加率(%)	5.9	9.2	0.2	0.3	0.0	3.8
生産財	指数	85.6	87.2	86.5	86.8	86.6	88.7
	増加率(%)	3.5	1.9	1.2	0.3	0.2	2.4
鉱工業用生産財	指数	86.0	87.6	86.9	87.1	87.2	89.2
	増加率(%)	3.5	1.9	1.2	0.2	0.1	2.3
その他用生産財	指数	57.9	57.4	56.5	57.9	57.3	57.7
	増加率(%)	4.5	0.9	3.1	2.5	1.0	0.7

図3-2 財別出荷の推移 (12年=100 季調済、年の数値は原指数による)



(3) 在庫 - 最終需要財・生産財ともに低下 -

平成18年の在庫動向を財別にみると、前年に比べ、最終需要材は9.4%（投資財0.5%、消費財18.8%）、生産財も0.4%と低下した。

品目別に上昇品目をみると、最終需要材では普通トラック(投資財)や電子レンジ(消費財)、生産財では線形半導体及びモス型半導体集積回路などが寄与した。

一方で低下品目については、最終需要材では乗用車(消費財・投資財)・石油温風暖房機(消費財)やシステムキッチン(投資財)、生産財でははん用内燃機関・一般缶・食缶などが寄与した。

表3-3 財別在庫の推移 (12年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		17年	18年	18年			
				1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
最終需要財	指数	103.6	93.9	99.6	95.2	97.7	93.3
	増加率(%)	7.0	9.4	5.1	4.4	2.6	4.5
投資財	指数	103.4	102.9	103.0	104.2	107.7	99.6
	増加率(%)	13.5	0.5	1.1	1.2	3.4	7.5
資本財	指数	106.9	109.7	104.2	108.3	110.8	101.3
	増加率(%)	11.4	2.6	1.4	3.9	2.3	8.6
建設財	指数	98.5	93.1	100.3	99.4	101.4	95.8
	増加率(%)	17.4	5.5	0.3	0.9	2.0	5.5
消費財	指数	103.7	84.2	93.4	86.8	88.1	84.3
	増加率(%)	0.7	18.8	11.7	7.1	1.5	4.3
耐久消費財	指数	101.9	82.7	87.8	80.0	83.5	83.4
	増加率(%)	5.2	18.8	16.9	8.9	4.4	0.1
非耐久消費財	指数	111.7	87.9	105.1	103.2	99.0	91.3
	増加率(%)	21.3	21.3	0.2	1.8	4.1	7.8
生産財	指数	126.4	125.9	124.9	123.5	124.3	125.4
	増加率(%)	1.9	0.4	1.8	1.1	0.6	0.9
鉱工業用生産財	指数	126.3	126.2	125.0	123.8	124.7	126.0
	増加率(%)	1.5	0.1	1.6	1.0	0.7	1.0
その他用生産財	指数	128.3	115.6	119.3	109.9	105.3	113.6
	増加率(%)	19.0	9.9	7.2	7.9	4.2	7.9

図3-3 財別在庫の推移 (12年=100 季調済、年の数値は原指数による)

